



## 小形輝雄議員

### 町の交通網と定住自立圏構想は

### 町長 企業誘致などで効果が期待できる

■広域行政をどう推進するの

小形 広域行政の推進について、町長の基本的認識を伺います。

町長 一つの自治体だけでは解決できない問題は、広域行政での取り組みや定住自立圏構想といった政策への取り組みも重要だと考えています。

最初に広域行政ありきではなく、まずは自らが自立するまちづくりを基本に据えて取り組むものと認識しています。

小形 定住自立圏構想の課題を伺います。

町長 中心市の人口が4万人を超えることが要件となつているので、その要件緩和が必要であることです。

圏域のビジョンを描き本の役割を明確にして、町民へ情報を提供し、理解を得ることが必要だと考えます。

■荒砥橋の整備計画は

小形 町民の広範な活動を確保する交通ネットワークの整備が必要です。本町の「広域を促進する荒砥橋の整備計画」をどのように考えていますか。

町長 最上川によって二分されている東西地区を結節し、均衡ある発展に寄与することだけでなく仙台、新潟間の最短ルートであり広域交流の重要な路線です。

荒砥橋架け替えは、23年度に予定地のボーリング調査が行われました。橋自体の架橋位置は現況の下流約6メートルの予定ですが西

回り幹線としてのルートを通過させるのが重要になると思います。

■高速交通ネットワークをどう考える

小形 若者定住、企業誘致

は高速交通ネットワークが大きな要因となります。東北中央自動車道に国道348号を結ぶスマートインターチェンジの設置が必要と考えますが、町長の考え方を伺います。

町長 企業誘致や定住促進をはかるうえで、本町にとっても大きな効果が期待できると思います。

情報を収集しながら、どのような運動が展開できるか検討していきます。

■広域文化施設をどう考える

小形 広域による文化施設の設置は、長井市を核に広域のスケールメリットを活かした施設建設や運営とありますがどうですか。

町長 より効果的、効率的に町民サービスが提供できるのであれば検討していく必要があります。

各市町村圏域の住民福祉の向上という大局的な見地からの見方が重要になってくると考えます。



西側から望む荒砥橋